

# 市政への関心度…76.2%

## 第7回世論調査結果まとまる



市では、広報及び広聴活動について、市民の意識や評価をつかみ、今後の市政に役立てることを目的に、第7回世論調査を行いました。そして、このほど調査結果がまとまりましたので、主な調査項目をお知らせします。

調査対象は、市内在住の成人男女1,373人を無作為抽出しておこない837人(61%)の回答をいただきました。

### 回収結果

- ・ 発送数…………… 1,373
- ・ 回収数…………… 837 (61%)
- ・ 男 ……………… 402名
- ・ 女 ……………… 435名

### 市役所について

#### ■ この1年間に市役所へ行ったことがありますか。

あると答えた人が81.7%、人数にすれば11万2千人以上が市役所に行ったことになり、やはり多いといえます。年代別にみますと、30代が83.7%と多く、以下高年代につれて少なくなり、20代が最も少い。

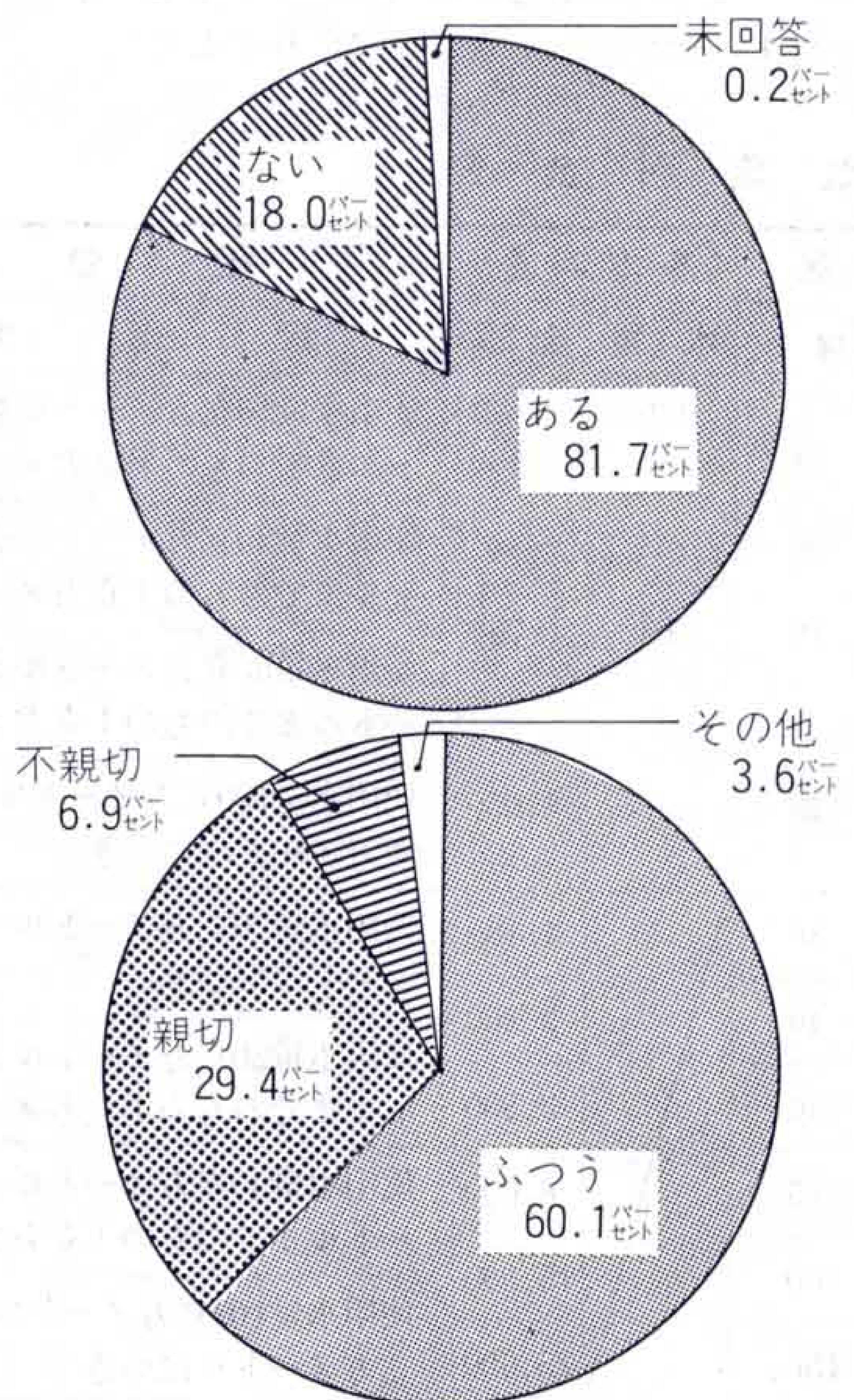
また地域別にみますと、丘地区の95.8%をトップに、市役所に近い吉原、今泉地区となり、逆に遠い須津、浮島の75.7%、岩松の76.5%と少い結果がでました。

#### ■ 市役所へ行った時の感じはどうか。

右図のように全体の90%以上の方が、普通又は親切と回答していただきましたが、不親切と答えた一部の人の中から、手きびしい批判意見が記入されていました。その意見は

- 応待が悪い。
- 時間がかかりすぎる。
- 顔を見ても席を立ててこない。

など今後、この手きびしい意見を十分反省し、市民サービスの向上に役立てていきます。

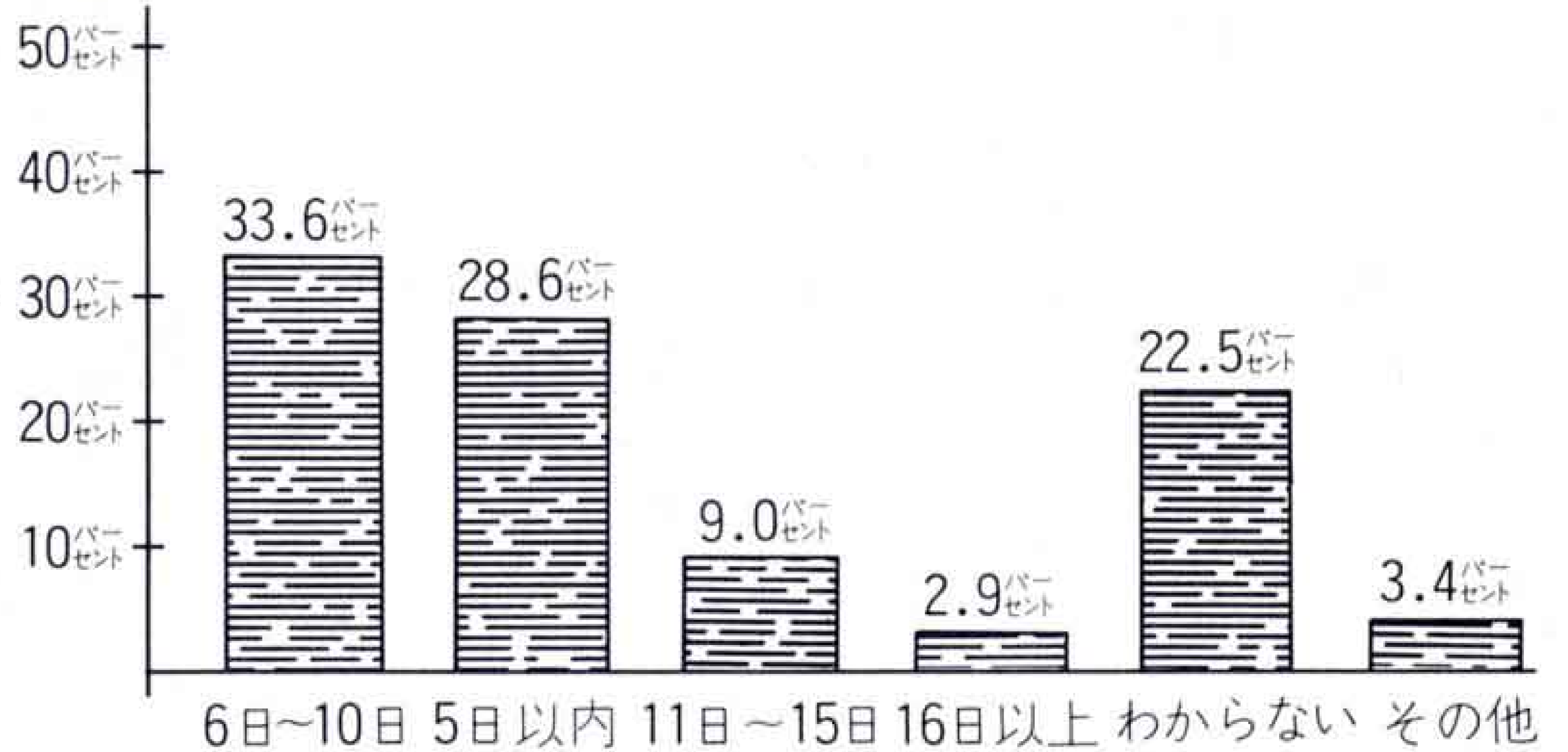


# 広報紙について

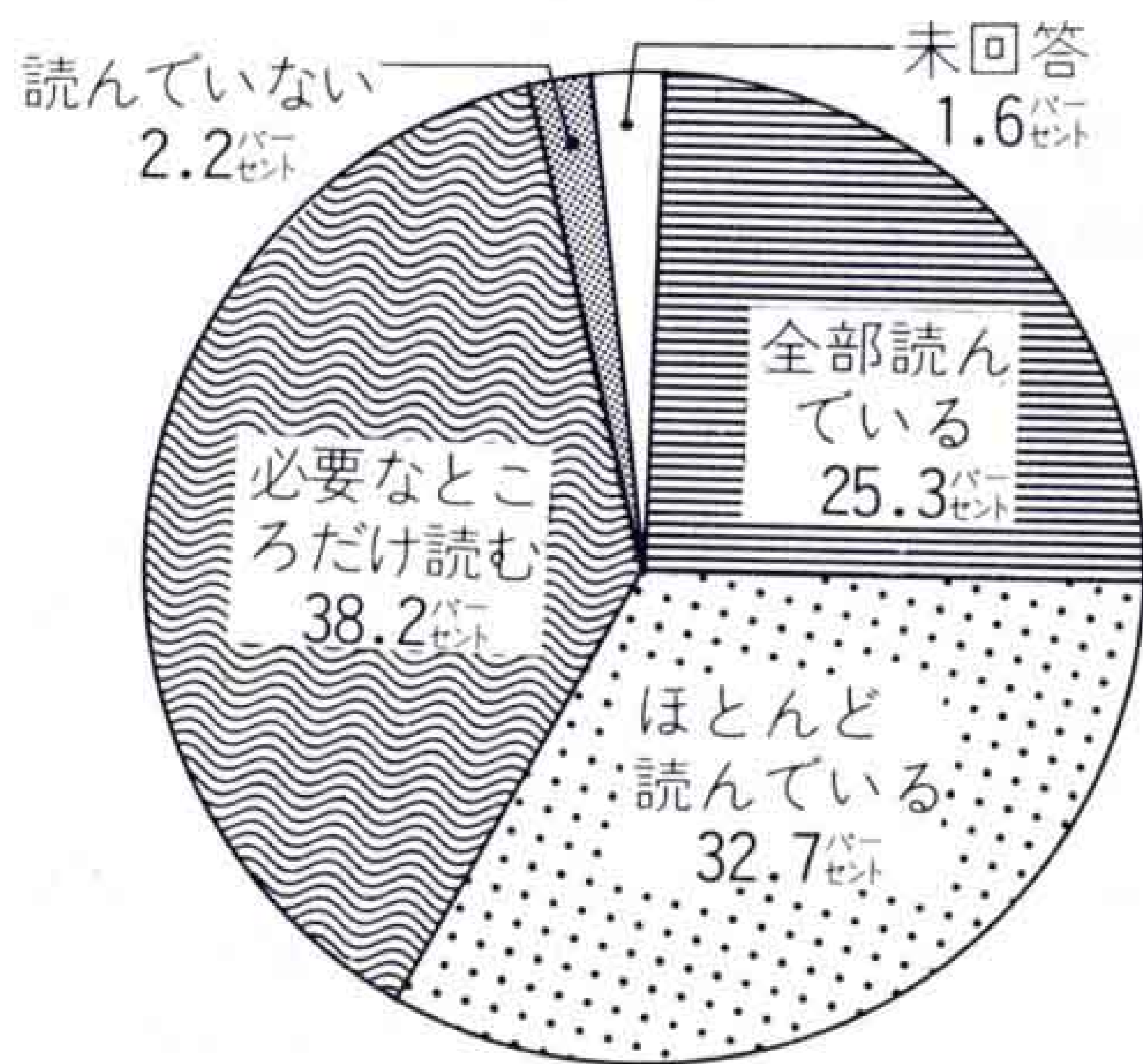
## ■ 広報紙は、何日くらいで届けられていますか。

広報紙が各家庭に届くのは、6日から10日  
が最も多く33.6%、5日以内が28.6%、  
11日から15日が9.0%の順になっており、  
わからないと答えた人が22.5%ありました。

配布方法については、現在の町内会を通  
して配布する方法が支持されました。その  
中には、市と町内会・住民が、一日も早く届  
けられるよう一致協力していく、という意  
見も含まれていました。



## ■ 広報紙をどの程度読んでいますか。

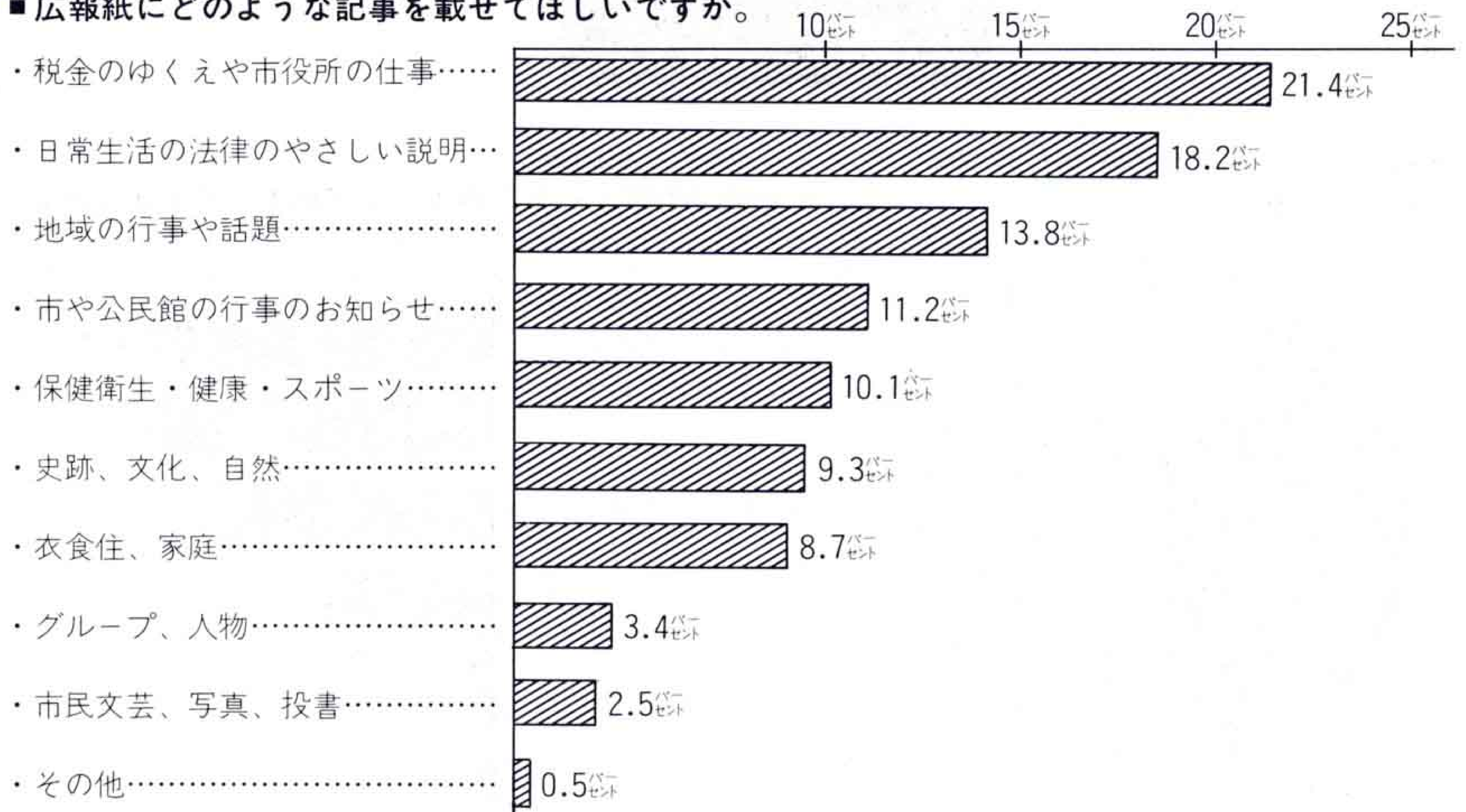


## ■ 広報紙のどの記事に関心がありますか。

男女別で見ますと、女は「お知らせ」(45.6%)  
が多く「市政に関する記事」(18.3%)は、男よりず  
っと少ない。男は「お知らせ」(39.3%)、「市政に  
関する記事」(30.7%)と、その違いを表わしてい  
ます。年代別の特徴としては、「お知らせ」は30代  
(45.1%)が最も多く、60代以上(40.6%)が最も  
低い結果がでました。

職業と結びつけますと、主婦は「お知らせ」  
(47.9%)が最も多いが、「市政に関する記事」  
(16.4%)は最も少ない。逆に「市政に関する  
記事」が多いのは、専門管理職(39.1%)、  
農林業(35.9%)でした。

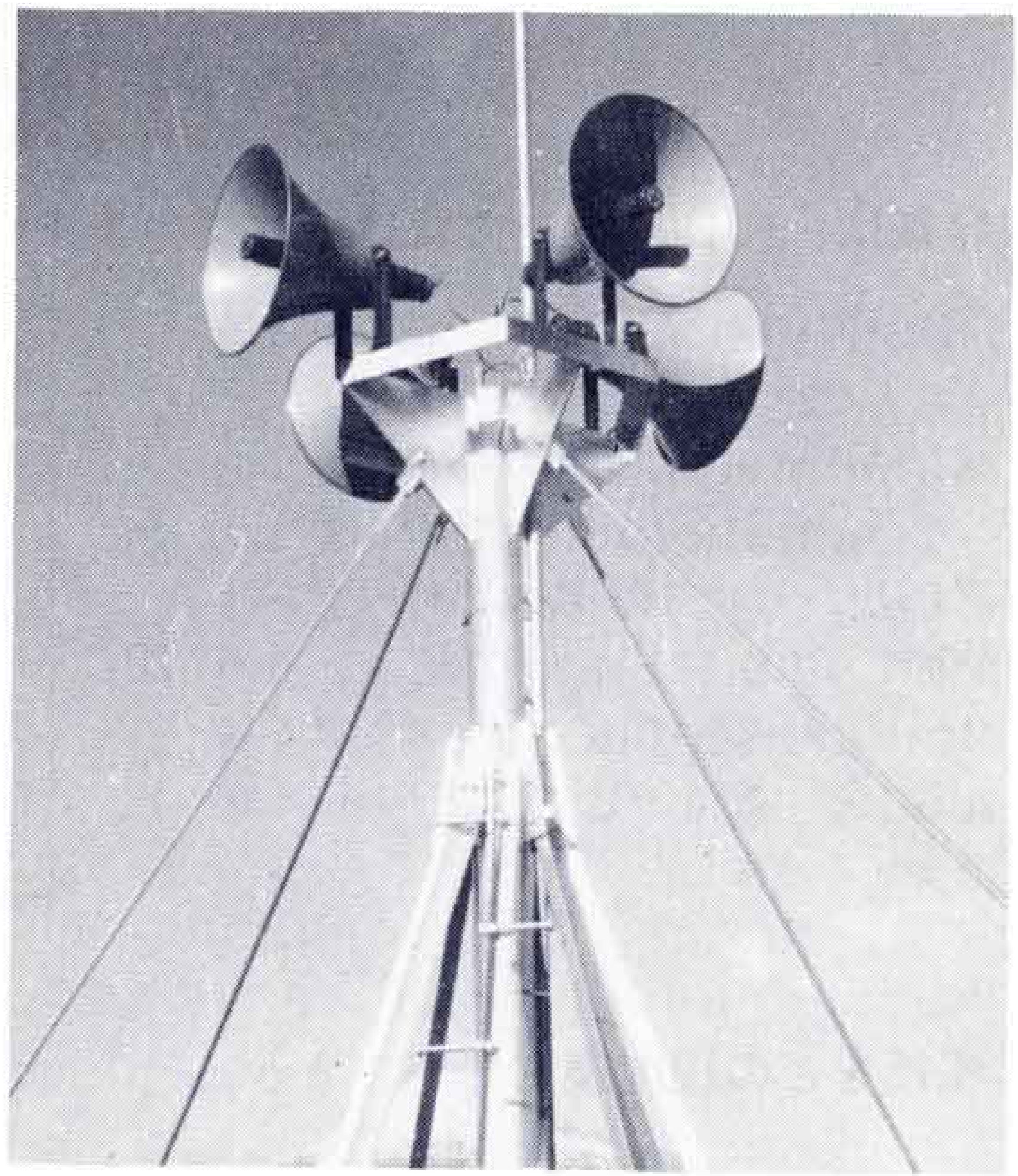
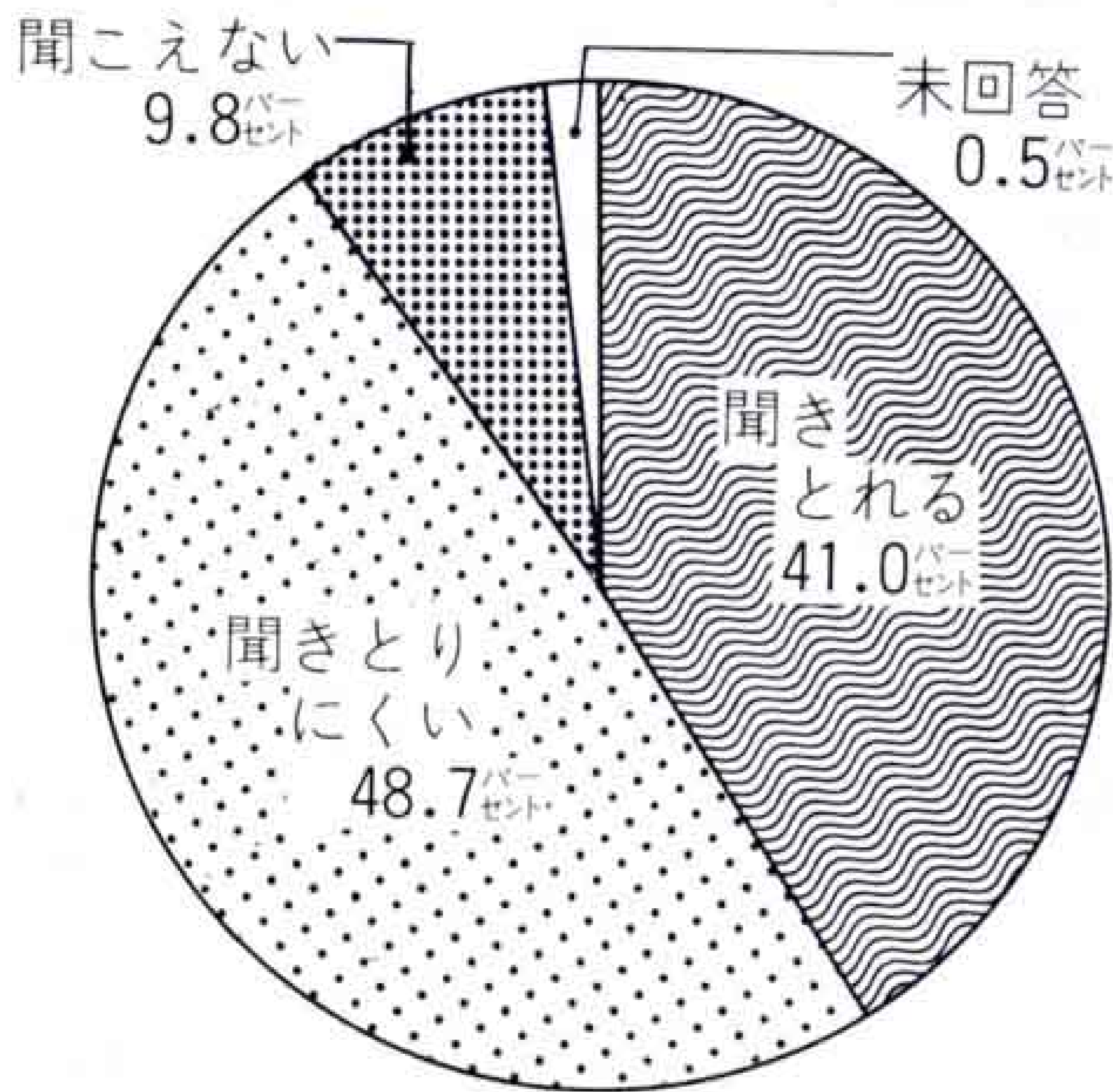
## ■ 広報紙にどのような記事を載せてほしいですか。



## 広報無線

### ■市で放送する広報無線が窓を開けた状態で聞こえますか。

聞きとれると答えた人は、地域によって差があります。多い地区は大淵53.5%、原田、田子浦各50.0%でした。聞こえないと答えた人も地域によって差があり、多い地区は丘33.3%、吉原22.4%でした。全体的には聞きとりにくい又は、聞こえないと答えている人が、58.5%もいましたので反省させられます。次にその理由について見てみましょう。



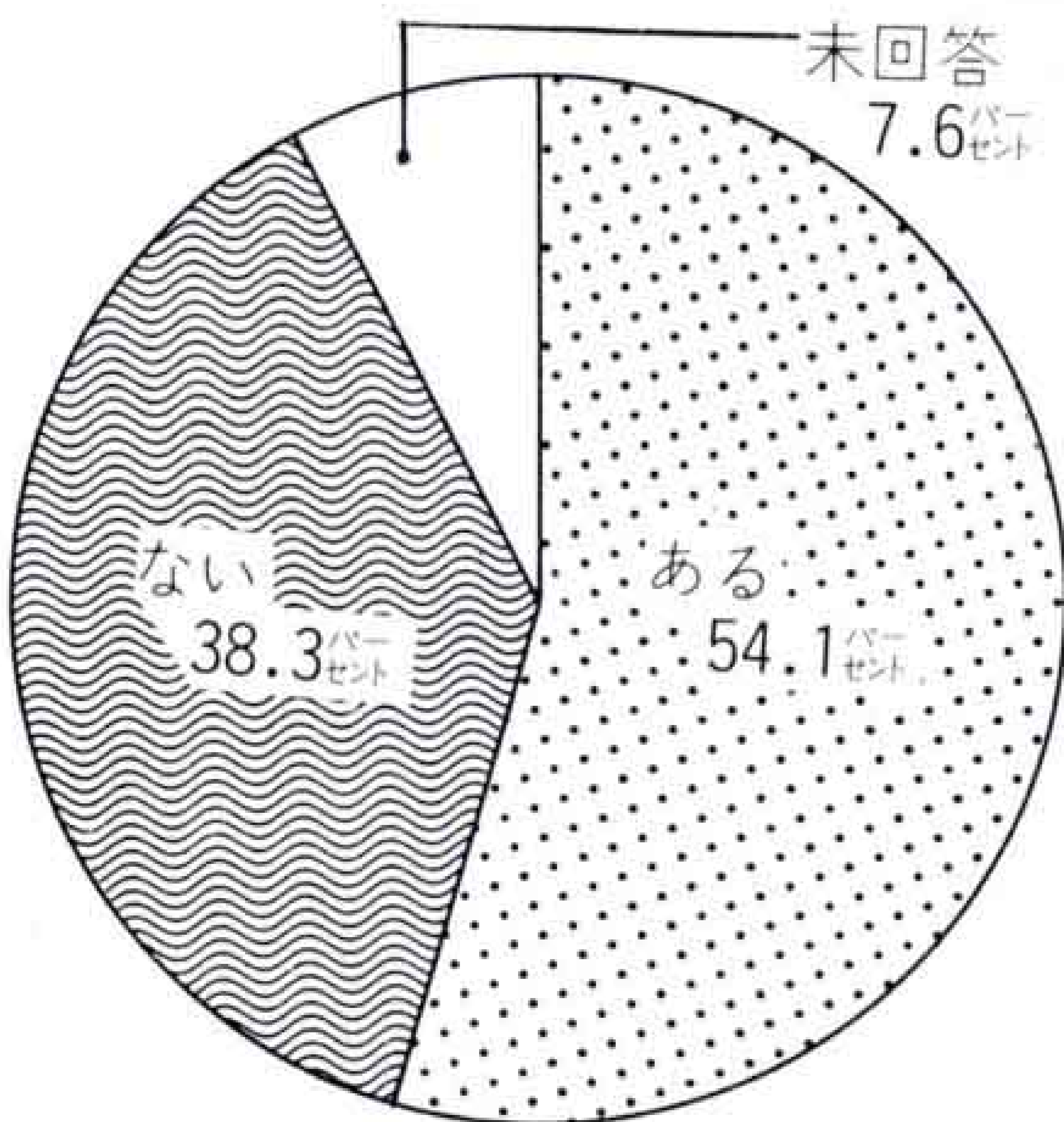
### ■「聞こえない」「聞きとりにくい」理由として

広報塔から離れているが、42.2%と最も多く、地区では、広見69.7%、大淵60.0%が目立ちました。その他が、25.9%とかなりの比重をしめていますが、このほとんどが二つのスピーカーからの音が、重複して聞きとりにくいという理由です。

地区では、駅南が52.8%とずばぬけて多く、これらは現在設置されている広報塔は、大淵、広見地区は点在しているが、駅南は設置カ所の実態から、かえって重複の原因になっていることと思われます。

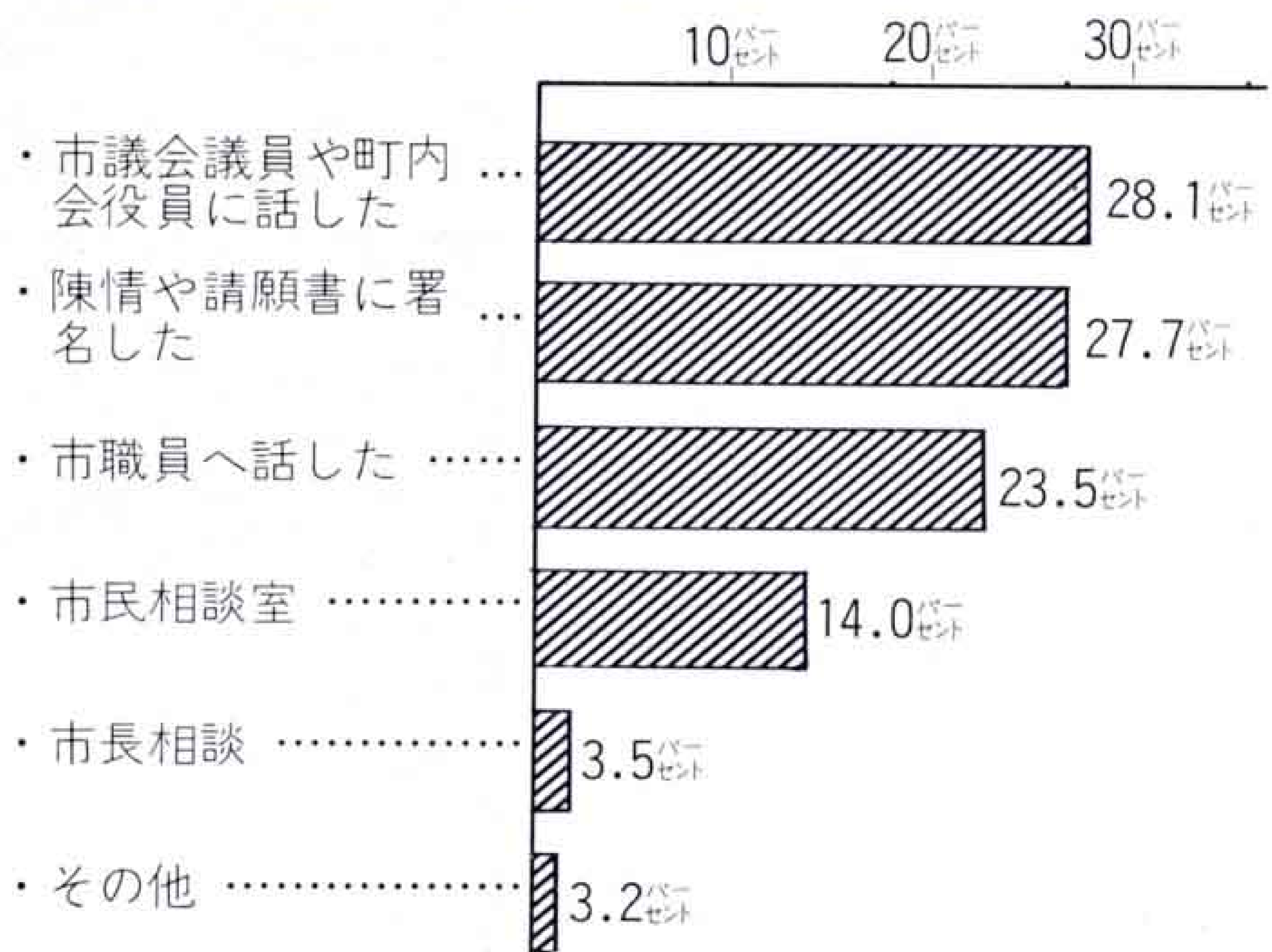
## 広聴について

### ■市に対して要望などをしたことがありますか。



あると答えた人を100とした場合

### ■要望の手段としてどのようなものを利用しましたか。



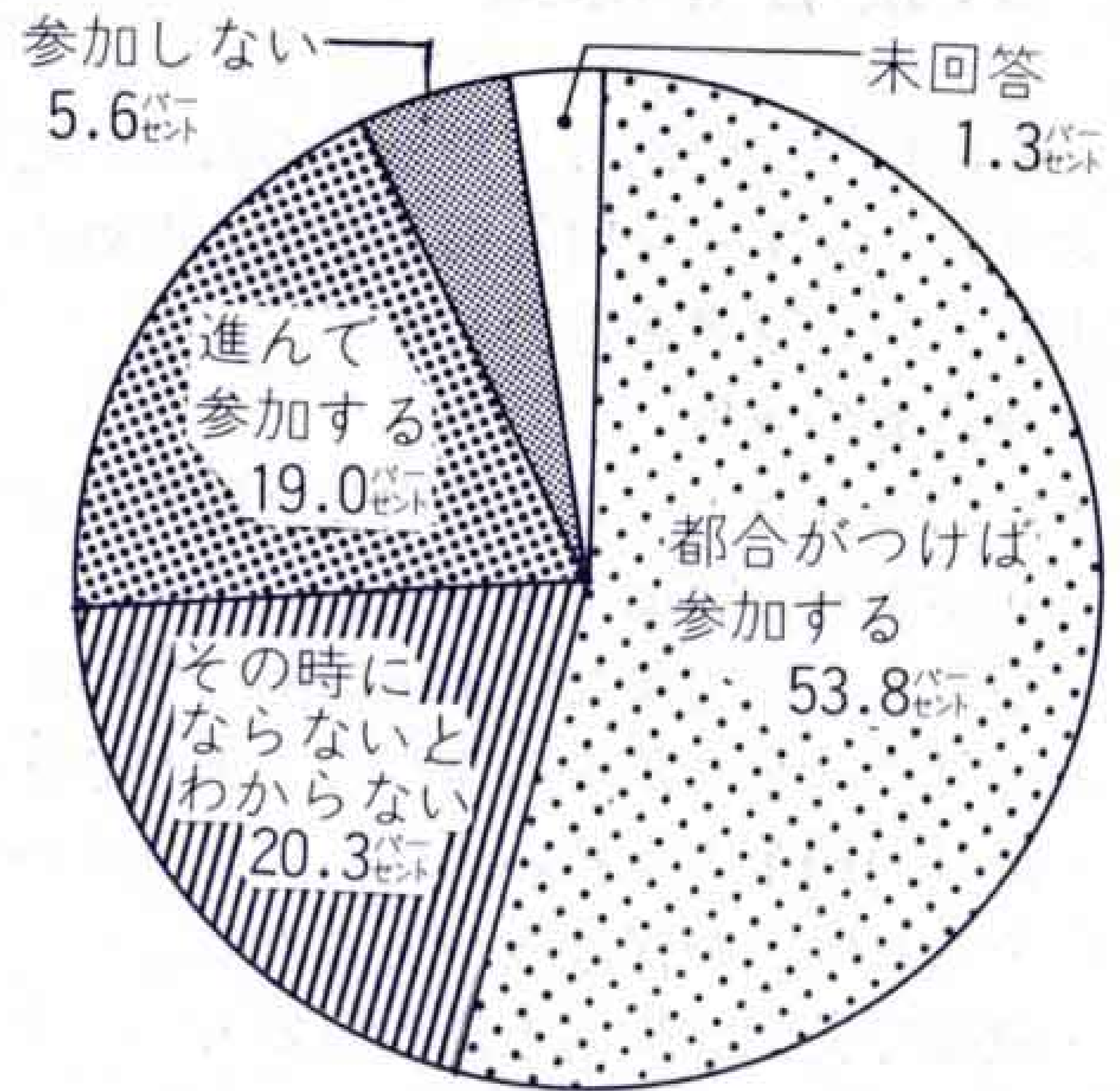
# 市政への関心度

## ■ 市政についての集会が開かれた場合、あなたは参加しますか。

「進んで参加する」と答えた人は、男22.9%で、女15.4%より多く、年代別では、高年代ほど多くなり、20代6.8%に対して、60代以上39.3%と差がでています。

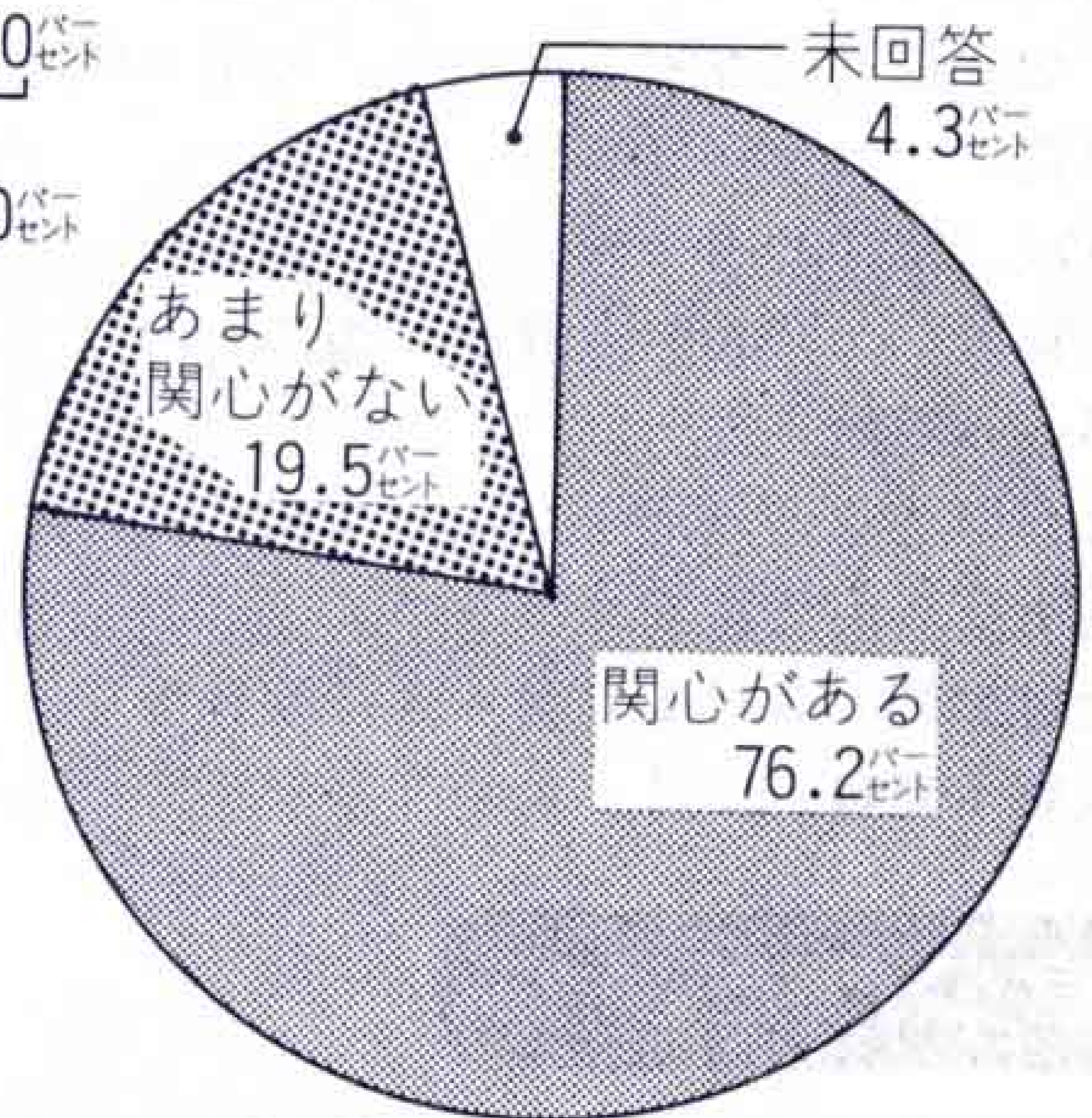
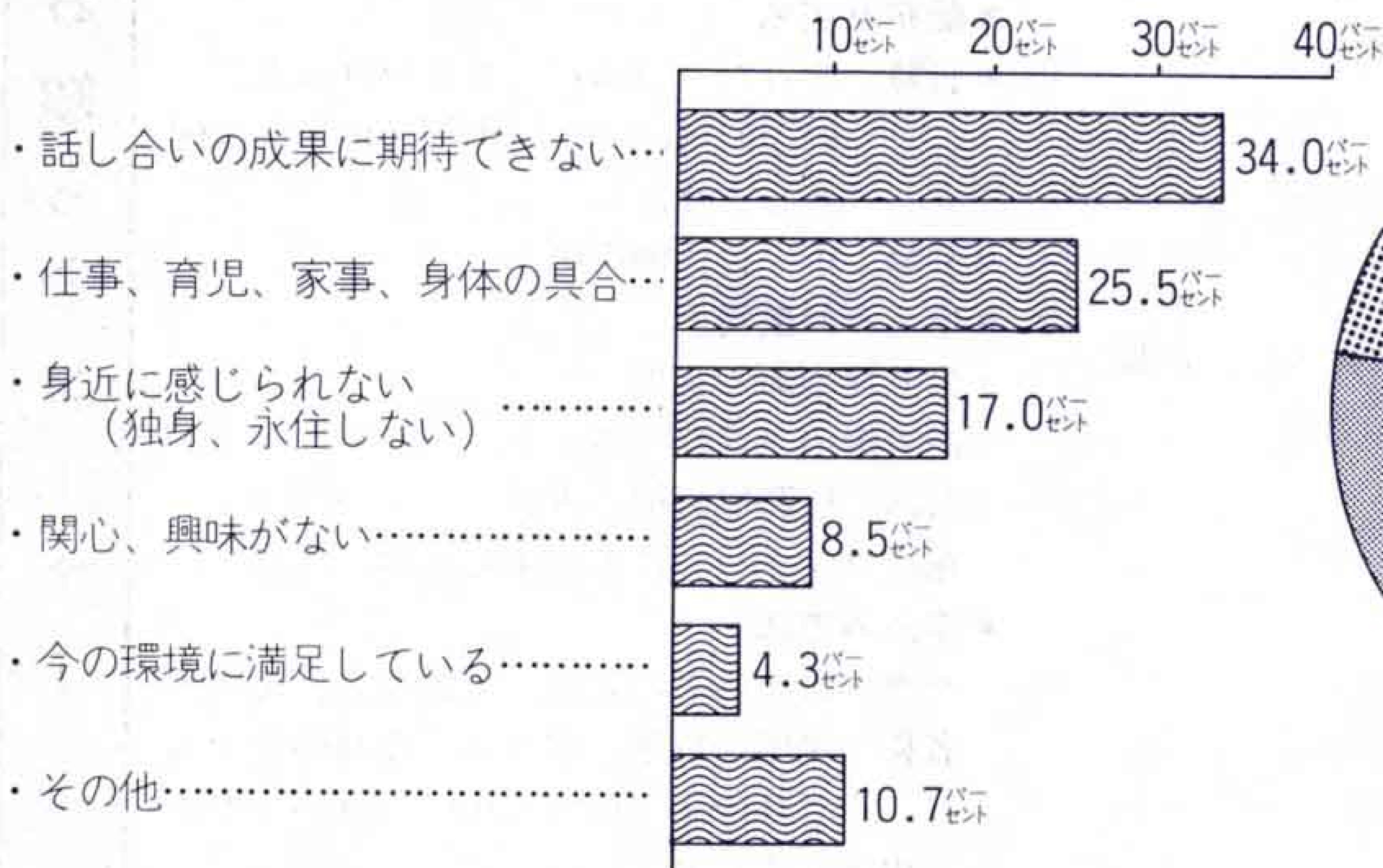
地区で多いのは丘33.3%、大淵30.2%であり、少ないのは、元吉原10.4%、富士見台10.5%です。また在住期間別では、合併前から住んでいる人の22.8%に対して、合併後が7.4%と大きな特徴を示しています。

「参加しない」と答えた人は、年代別では若い人ほど多く20代の9.0%に対して、60代以上では0.8%でした。地域別では、吉原の10.4%が最も多く、少ないのは吉永0%、広見2.1%でした。

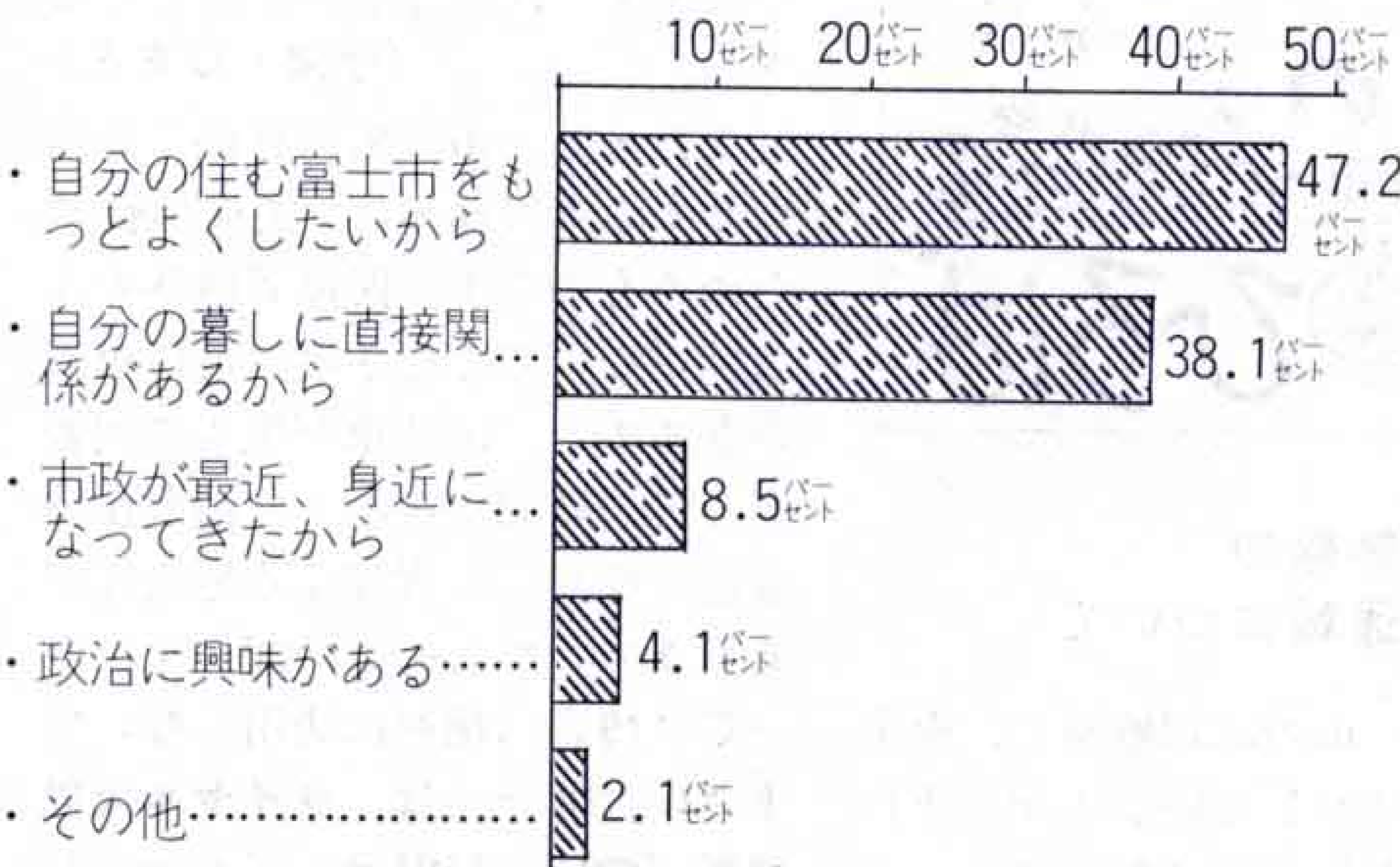


## ■ あなたは市政に関心がありますか。

### ■ 参加しない理由は。



### ■ 関心がある理由として



### ■ 関心がない理由として。

